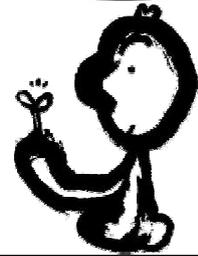


しみん基金・KOBÉ NEWS

第 26 号

2011 年 12 月発行



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203(サンピア2F)

TEL 078-230-9774 FAX 078-230-9786

e-mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

絶望の中にこそ夢や希望が宿る



東日本大震災の傷跡は、三陸沿岸部だけでなく、全国各地に広がっている。目を凝らしてみよう。数万人もの人々が、郷土を遠く離れ、孤独と闘いながら避難生活を送っている。弁護士をはじめとする士業の被災者支援活動も、はじめの頃は被災地に赴いて被災者の方々に直接ふれあう形で行動を進めてきたが、今は、全国各地の避難者の方々に寄り添う形で展開しつつある。市民ボランティア活動も、地元で培ってきた市民活動支援の強みを生かして、新しい絆とあたたかい人の輪を形づくっている。阪神淡路大震災で生まれたボランティアの志は、形を進化させながら、より深まっている。

ただ、避難者の発するつぶやきはとても重い。とりわけ、絆の断絶には心が痛む。ある避難世帯の高校生は、地元に残った親友に放射線の恐ろしさを伝えるメールをしたら、プツリと交流が途絶えてしまった。ある小学校では、避難をした母親達と、避難したくてもできなかった母親達と、地元に残った母親達との間で対立が生じ、修復できないほど深刻化している。ある家庭では、父が仕事のために現地に残り、母子が避難しているが、別居生活のストレスから双方とも疲弊し、離婚の危機に悩んでいるという。

放射線は、細胞のDNAを破壊して健康被害をもたらすから怖い。しかし、それだけではない。地域を、経済を、仕事を、生活を、家族を、そして人間の絆までも破壊するのが本当の怖さである。避難者に寄り添うボランティア、専門家としては、そうした感覚を知っておくことが重要だと思う。

他方で、被災者の方々から学ばせていただけることは数知れない。足湯ボランティアをやっている福島大学の学生さんから、「今、福島では『がんばらないけどあきらめない』という言葉が流行っている」と教えてもらった。「頑張れ、頑張れ」の大合唱に感じる辛さは、我々にも経験があり「がんばらない」という言葉には共感を覚える。一方で、「あきらめない」という言葉には力強さを感じる。考えてみると、「夢」という字は、目に草をかぶせ、夕暮れにフタをして、真っ暗な中で見るものと書く。「希」という字は、ほとんど無いという意味だ。「望」は月のあかりを亡くした王さまと書く。どれもこれも極端にマイナスイメージの漢字なのである。しかし「夢」や「希望」は心に射し込む光。どうやら、夢や希望は、絶望のどん底の暗い中にこそ存在するものらしい。被災地にこそ夢や希望が宿るのだ。

一人ひとりのボランティアにできることは小さい。しかし、「あきらめずに夢や希望を持つ」のに寄り添うことは、人間の共感力があればできることである。そんな気持ちを寄せ集めて、絆を創っていくことが被災者支援ボランティアのポイントだろう。

阪神・淡路まちづくり支援機構事務局長 津久井進
(しみん基金・KOBÉ審査員、弁護士)

主な目次

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| ◆ 平成 23 年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告 --- 2 | ◆ こうべあいウォーク 2012 ご案内 ----- 4 |
| ◆ 平成 23 年度助成先団体一覧 ----- 2~3 | ◆ しみん基金 KOBÉ 活動報告 ----- 5 |
| ◆ 竹下景子さん詩の朗読と音楽の夕べご案内 ----- 4 | ◆ 16 年目のひとり言 ----- 6 |



平成23年度しみん基金・こうべ助成事業のご報告



平成23年10月31日(月)13時～17時に、神戸市生涯学習センター(コムスタ・こうべ)2F セミナー室にて、平成23年度しみん基金こうべ助成事業の公開審査会を行い、別表のとおり助成先を決定いたしました。この事業の実施にあたりましては、多くの方々の貴重なご寄付とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

当基金の助成事業は、「市民主役の市民社会の形成」というミッションに共感して頂いた市民ひとりひとりからのご厚志をもとにして、過去11年間にわたって地域の市民活動・ボランティア団体の事業に対して助成を行ってきました。

今年度の助成事業では、昨年度に引き続き「次代の担い手の育成を重視する」というテーマを掲げました。合わせて、従来からの分野を限定しない一般枠とともに、7月16日に開催した東日本大震災被災者支援／日本を元気に！チャリティコンサートの収益金による指定寄付に基づいて、東日本大震災で被災した人々を支援するボランティア活動へ助成する特定枠を設置しました。

7月中旬に応募要項を公表し、7月21日～8月31日の期間に申請受付を行いました。応募期間中に事前個別相談会(予約制)を実施して、多くの団体の皆さんにご利用頂きました。応募総数は、66件(一般枠:50件、特定枠:16件、昨年度は70件)でした。

その後、9月15日の当基金理事会にて書類審査を行い、18団体(一般枠:9団体、特定枠:9団体)の方々に公開審査会でプレゼンテーションを行って頂くことになりました。

そして、9月下旬から10月中旬にかけて、当基金の理事が手分けして各団体の活動場所を訪ね、ヒアリング調査を



実施いたしました。各審査員へは、申請書類とヒアリング調査結果報告を事前にお読み頂いた上で、公開審査会に臨んで頂きました。

公開審査会当日は、書類審査で選考された17団体(当日1団体欠席)の方々から、各々の助成を受けたい事業の背景や目的、その内容・スケジュール、それによってめざすべき社会的成果についてプレゼンテーションを行って頂き、審査員との活発な質疑応答がありました。

すべての発表が終わり、審査員による公開投票を行い、12団体(一般枠:8団体、特定枠:4団体)が助成先として選考されました。その後、同日の当基金理事会にて、公開審査会の結果を受けて、各団体の事業に合計2,970,000円(一般枠:1,480,000円、特定枠:1,490,000円)を助成することが承認されました。

◆ 平成23年度 助成決定団体・事業

区分	番号	団体名	事業名	所在地
		事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)		助成金額
一般枠	1	兵庫県手話サークル連絡会	県サ連ブロック学習会・研修会	神戸市中央区
		聴覚障害者と通訳者、市民の交流による情報交換を行い、聴覚障害者に対する理解を深め、また手話通訳者や聴覚障害福祉の専門家を招き、手話技術の向上を図る研修会を開催する。		200,000
	2	点訳グループ ともしび	パソコンによる点訳奉仕グループ	加古川市
		パソコンの導入により依頼図書の点訳作業の効率化を図り、視覚障害者の社会参加のお手伝いをし、点訳普及に役立てる。		74,000
	3	ひよどり台エコタウンクラブ「エコミズプロジェクト」	ミズ飼育による生ゴミ減量化プロジェクト	神戸市北区
		日常生活から発生する生ごみを餌にミズを飼育し堆肥作りを行い、その堆肥で育てた家庭栽培の野菜を食する、地域単位の循環型社会の創造とCO2削減を目指す。		70,000
	4	兵庫県喉摘障害者福祉協会 神鈴会	喉摘者の代用音声発声指導員のスキルアップ養成研修	神戸市中央区
		喉摘者の代用音声法は、日々新しい技術が進化しているのだが、それを指導する職業的専門家がおらず、喉摘者自らが習得・指導する必要性に迫られている。		78,000

区分	番号	団体名 事業の目的・社会的必要性(申請書類より抜粋、一部補足)	事業名	所在地 助成金額
一般 枠	5	神戸大学灘地域活動センター 災害復興公営住宅には、被災前の居住地域から離れて暮らす単身世帯の高齢者が多く、孤立感も持たれている。そういった方々のために、友人を作ったり悩みを相談する「場」を提供することを目的に、茶話会やイベントを開催する。	災害復興住宅住民と周辺地域住民でのコミュニティ形成支援事業	神戸市灘区 408,000
	6	(特活)あんだんてKOBÉ さまざまな音楽は、音やリズムを通して情緒の発達を促すと同時に自己表現を可能にし、他者とのコミュニケーションを促す。知的障害者や幼児、児童を対象に、音楽を通じた療法的活動会を開催する。	知的障がい児・者余暇活動支援事業～グループ音楽活動をととした余暇支援と交流活動～	神戸市灘区 300,000
	7	とびまつ森の会 飛松中学校の学校林と周辺の森林を整備し、里山づくりを行うことによって自然から学び、自然を活用した作業や活動を行い、人々が心地よく過ごせる自然環境をつくる。	自然に学び、エコを活用する”里山づくり”を次世代に伝える	神戸市須磨区 150,000
	8	(特活)花と緑のネットワーク川西 生ごみを市収集ゴミに出さずに、コンポスト容器を使って自家堆肥をつくることを目的とした講習会を開催することを通じて、ごみを資源にかえて循環させる「ゼロ・ウェイスト」社会を目指す。	「お家で出来る生ゴミの堆肥化」普及無料講習会	川西市 200,000
特定 枠	9	トモニプロジェクト 東日本大震災で壊滅的な被害にあった気仙沼市に対して、市内の仮設住宅へ衣類など物資提供の支援と、同市南町の復興商店街の支援を行うことで、少しでも早いまちの復興を促進させることを目指す。	気仙沼復興支援プロジェクト	神戸市灘区 330,000
	10	災害支援団体 チーム神戸 東日本大震災で甚大な被災にあった石巻市湊地区の復興を目的に、残された住民や仮設へ移動した住民が交流できる「ふれあいサロン」を開設、被災地住民とともに運営する。	東日本大震災の被災地における『コミュニティサロン』創設	神戸市長田区 330,000
	11	(特活)よろず相談室 石巻市の仮設住宅への継続的な訪問活動し、阪神大震災経験者(高齢者・障害者や若者)との語り合いを通じて、「人と人のつながり」の重要性を伝え、復興への前向きな一歩を踏み出す支援をする。	つらさ共有 傾聴ボランティア —被災経験者・若者による被災者支援事業—	神戸市東灘区 330,000
	12	(特活)ダンスボックス 次代を担う高校生たちが自己を表現するための力を養う場をつくること、高校生同士の交流を促進することで、未来に向けて共に語り合う場をつくること、福島と神戸の芸術活動に関わる者が出会い、震災経験をともに分かち合いながら独自のネットワークを構築することを目指す。	いわき・神戸 高校生プロジェクト	神戸市長田区 500,000

◆当日ご出席頂いた審査員の皆さん(順不同・敬称略)

- 石東 直子 (石東・都市環境研究室) = 審査員長
- 松村 敏明 ((社福)えんぴつの家)
- 清水 勲夫 ((財)野外活動協会)
- 相川 康子 ((特活)NPO 政策研究所)
- 河口 紅 ((特活)さんびいす)
- 鷲本 郁 (あじさい基金—しみん基金こうべを支える会)
- 津久井 進 (弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所)
- 二木 一夫 (毎日新聞神戸支局)
- 中島 淳 (神戸芝居カーニバル実行委員会)

◆しみん基金・KOBÉ 特別賞

「しみん基金 KOBÉ 特別賞」(今年度より「草地奨励賞」から

名称変更)は、当基金理事会にて審議した結果、「不良ボランティアを支える会」に贈呈致しました。

*

※代表・尾澤氏のコメント
活動を始めて間もない私たちに授与して頂き、大変感謝しています。

これまで活動を続けてきて、17年前のボランティア精神が回りに回って私たちを後押ししてくれているのではないかと感じることが多々あります。その意味で私たちは、17年前に神戸に集まった思いに、感謝しなければなりません。

頂いた神戸市民の支え合い精神を確実に広げていくことを、受賞に際して誓いたいと思います。





～ 1・17メモリアル・コンサート ～ 竹下景子さん “詩の朗読と音楽の夕べ” ご案内



阪神淡路大震災から17回目の「1・17」が巡ってきました。2011年3月11日に発生した東日本大震災は、われわれが17年前の大震災から学んだ安心・安全・平和のありがたさや、人と人との絆と共に悲しむ心の大切さを再認識させられました。今も多くの苦しんでいる人たちに向けて、ふたつの大震災から感じたこと、学んだことの想いを「詩」のかたちに託して、今回も多く一般の皆さんからメッセージを寄せて頂きました。その中から厳選された「詩」を、今年も竹下景子さんが丁寧に朗読して頂き、林昌彦さんがそれに寄り添うように即興でピアノを演奏されます。

今回は、復興支援コンサート実行委員会主催事業として下記のとおり開催します。当基金も、チケット販売等で開催に協力しています。

なお、今回で竹下さんによる神戸での「1・17」は終了し、2012年の「3・11」より東北へと継承されていく予定です。

【開催概要】

■日時：2012年1月17日(火) 開場 18:30/開演 19:00

■会場：灘区民ホール5F(マリーホール)

TEL:078-802-8555 (神戸市灘区岸地通 1-1-1)

■アクセス：JR六甲道駅より西へ徒歩15分、

阪急王子公園駅より東へ徒歩15分、山手幹線沿い

■内容：竹下景子さん詩の朗読 with 林昌彦さんピアノ演奏

ゲスト演奏：ロビン・ロイドさん、後藤ゆり子さん

■チケット：前売¥2,000、当日¥2,500 全席自由席

※チケットのお申込みは しみん基金・KOBÉ でも承っていますので、参会ご希望の方は、同封の申込用紙を利用して、当基金事務局までご連絡下さい。

TEL:078-230-9774 FAX:078-230-9786



あい こうべ ウォーク2012 ご案内

震災から17年の神戸を、あなたの足で歩いてみませんか？あなたの心のこもった「あい」を少し神戸のボランティア活動にわけて下さい。

1999年に第1回こうべあいウォークを開催し、第3回まで大勢の方にご参加頂きました。その後も毎年欠かさず1月17日直近の日曜日に有志で続け、10年目の2009年より少し規模を拡大して復活いたしました。

このイベントは、震災から17年のときが経過した長田のまちをみんなで歩き巡り、まちの復興のプロセスや現状と課題を知ることを通じて、「市民社会」のあり方を次世代に伝えていくことを目的に開催しています。スタート地点での募金は、当基金を通じてNPO・ボランティア活動へ助成されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

※申込予約は不要です。当日所定の時間にお集まり下さい。

【開催概要】

■主催：こうべあいウォーク2012実行委員会

((特活)しみん基金KOBÉ、神戸復興塾、(特活)神戸まちづくり研究所、まち・コミュニケーション)

■協力：近畿労働金庫地域共生推進室

■開催日：2012年1月15日(日) ※雨天決行

■募 金：¥1,000～(お気持ち次第で結構です！)

■スタート：受付 9:30～10:00 随時出発

大園公園(JR鷹取駅南東徒歩5分)

■ゴール：受付 12:00～13:30

みくら5(御蔵北公園北：高速長田駅南徒歩3分)

※全行程3～4Kmを、配布地図を参考にゴール目指して、それぞれのペースで歩いて頂きます。途中随所で案内ボランティアによる解説を聞くことができます。



しみん基金・KOBÉ 活動報告(2011年8月～2011年12月上旬)

【イベント・講演・研究会等】

7月21日～8月31日 **しみん基金 KOBÉ 助成事業・申請受付
及び、事前個別相談会(P2参照)**

8月2日・神戸市アドバイザー派遣事業・MTG

・神戸市アドバイザー派遣事業

第1回 NPO 運営ステップアップ連続講座@KEC

「助成金申請書をうまく書くコツ」企画・講師 江口

8月19日 **しみん基金 KOBÉ 助成事業・理事-審査員合同会議**

9月6日 市民ファンド意見交換会

@神戸市役所プラットフォーム

9月7日・神戸を元気に！チャリティコンサート実行委員会

・神戸市アドバイザー派遣事業・MTG

9月20日 神戸市アドバイザー派遣事業

(特活)アミティエスポーツクラブ@神戸市東灘区

第2回訪問:アドバイスの方針確認

9月25日 近畿の環境団体をつなぐ情報交流会

～分科会「ファンドレイジングという新潮流」講師:江口

主催:(特活)エコネット近畿 @大阪

9月28日～10月10日 **しみん基金 KOBÉ 助成事業・
ヒアリング調査(P2参照)**

10月5日 第1回ひょうご NPO 研究会 @KEC

10月18日・あじさい基金贈呈式

@神戸市役所プラットフォーム

・神戸市アドバイザー派遣事業

第2回 NPO 運営ステップアップ連続講座@KEC

10月21日 スタッフ募集公開(～11月末日)

10月29日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西

日本地区版)実践編・第1回教室学習:オリエンテー

ション @大阪/パナソニックセンター・セミナー室

11月5日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西
日本地区版)実践編・第2回教室学習:ヒアリング項目
抽出

11月8日 **しみん基金 KOBÉ 助成事業・覚書締結**

11月12日 全国ボランティアフェスティバル TOKYO

～分科会「NPO だからできるお金の集め方と助成」

主催:市民ファンド推進連絡会 江口:出席

11月19日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西

日本地区版)実践編・実習先団体((特活)神戸定住外

国人支援センター)ヒアリング@神戸市長田区

11月29日 **しみん基金 KOBÉ 助成事業・助成金交付**

11月30日 神戸市アドバイザー派遣事業

(特活)アミティエスポーツクラブ@神戸市東灘区

第3回訪問:活動見学

12月2日 平成22年度助成事業・成果報告会(次号掲載予定)

12月3日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西

日本地区版)実践編・第3回教室学習:SWOT分析

12月6日 **しみん基金 KOBÉ 特別賞・贈呈式(P3参照)**

12月11日 NPO マネジメント支援コンサルタント養成入門講座(西

日本地区版)実践編・第4回教室学習:診断報告書作成

【会議】

9月16日 平成23年度第2回理事会:書類審査(P2参照)

10月31日 平成23年度第3回理事会(P2参照)

助成先団体、しみん基金 KOBÉ 特別賞について審議、

講演会事業及び平成22年度助成事業成果報告会に

ついて協議



古着リサイクル寄付のお問合せ & ご協力方法

あなたの古着がみんなの暮らしを支えます！

■取扱可能なもの

洋服、着物、靴、バッグ、アクセサリなど

※ 性別や対象年齢、シーズンなどは問いません。普
段着でも OK です。

※ ぬいぐるみなども一部、取扱可能です。事前にご相
談ください。

※ 汚れたものや破れているものは取扱できません。あ
くまでも再販売が可能なものに限りです。

※ 他にも取り扱い可能なものがあります。詳しくはお
問い合わせください。

■ご提供の方法

1. お洗濯やクリーニングなどは、必ず済ませてくだ
さい。

2. 消えないしみや汚れ、破れのあるものは除いて
ください。

3. 直接お店にご持参いただくか、宅配便にてお店
へお送りください。

4. 送付の際、「しみん基金 KOBÉ へのリサイクル
寄付」と明記してください。

※ 恐れ入りますが、送料は、送り主様にてご負担く
ださい。

◆提携店舗: オレンジスリフティ六甲店 URL: <http://kobe-haberdashery.com/othriftyrokko/index.html>
〒657-0027 神戸市灘区永手町3-1-208 TEL 078-858-7090 e-mail: othriftyrokko@aol.com



16年目のひとり言 ～絆～



今年を表す漢字一文字に「絆」が選ばれた。ちなみに「災」が2番手、「震」が3番手だったそう
だ。いずれも3・11に起こった東日本大震災が影響していることに間違いは無さそうだ。

「絆」の語源は諸説あるが、犬や馬など動物を繋ぎ止めておく綱、もしくは縛っておく紐という意
味から来ていると言われている。「絆」は「ほだし」という読みも持っており、こちらは、自由を束縛
するものという意味があるらしい。

どうも私たちが日頃使用している意味合いとは程遠い感じがしてならないなと思いつつ、更に
検索を続けているとこんな記事に行き当たった。

『「絆」の漢字は「糸」+「半」であることから、人と人の結びつきの「絆」とは、一方が相手の力加
減に関係なく引っ張り合うと糸は切れてしまう。お互いが相手の力加減を考慮しながら繋がる結
びつきの意味が込められたのではないか』

人と人が互いに相手の気持ちを気遣い合う、「絆」の大事さの説明としてはピッタリだと感じる。

被災地支援のあり方も、そうでなければいけない。被災者と被災地のニーズを正確に汲み取る
と共に、ニーズに対応するサービスがどの程度受け入れられるのか？どれ位の期間必要とされ
るのか？を感じ取りながら息の長い支援のあり方が必要だろう。支援が被災者にとって「束縛す
る絆」であってはならない。

しみん基金・KOBÉ 専務理事 瀬戸口仁三郎

会員数とご寄付のご報告

◆正会員 個人 37名 団体 4名

◆賛助会員 個人 53名 団体 14名

(2011年11月末現在)

◆新規賛助会員一覧 (敬称略・順不同)

津久井 進、山添 令子

◆寄付・募金合計金額 2,990,530円

◆寄付者・募金一覧 (敬称略・順不同)

津久井 進、井上 由紀子、山口 一史、武田 政義
中谷 豊、中島 秀男、白水 士郎、(特活)マブイ六甲
瀬戸口 延恵、木村 暉美、飛田 雄一、あじさい基金
神戸を元気に！チャリティコンサート実行委員会
(財)敬愛まちづくり財団

(2011年8月～2011年11月)

※この間、7月に開催した「東日本大震災被災者支援／日本を元気に！チャリティコンサート」の収益金¥1,526,530を
ご寄付頂きました。また、神戸市役所職員有志による職域
募金「あじさい基金」より¥320,000を、(財)敬愛まちづくり財
団より¥1,000,000をご寄付頂きました。皆様方からのご厚
志に深く感謝申し上げます。

「しみん基金・KOBÉ」の運営を
支えて下さる賛助会員と寄付を
募集しています。

個人会員 年間 3,000円

団体会員 年間 10,000円

お申し込みは電話・FAX・メールなどで、
お名前・ご住所・電話番号をお知らせください。

<振込口座>

三井住友銀行 三宮支店 普通 7965892

みなと銀行 本店営業部 普通 1597921

近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854

郵便振替 00990-5-157334

口座名義 「しみん基金・こうべ」



◆ あ と が き ◆

11月23日に「プロボノフォーラム2011in大阪」へ行って
きました。今年になって、「プロボノ」がようやく関西でも
展開されるようになりました。「プロボノ」とは、社会人が
仕事で身につけた専門的なスキルや知識を生かしながら、仕
事の合間に社会貢献するボランティア活動のこと。若い社会
人にとっては、仕事のやりがいを求めて普段とは違った世界
でその才能を発揮でき、それを受けるNPO側は自身の活動を
ブラッシュアップすることができる、とのこと。NPOと企業
社会との接点が、このようなWin-Winの関係でより一層拓か
れていくことに、今後も期待したいと思っています。(元)